

平成 29 年第 1 回景況調査報告

平成 29 年 8 月

平成29年第1回景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	平成29年7月10日(月)から平成29年7月19日(水)
(2) 調査方法	FAXによるアンケート調査
(3) 調査対象	市内172事業所(当所役員議員及びモニター事務所)
(4) 回収率	69.2%(119/172)
(5) 調査項目	平成29年1月～6月の業況・売上などの状況判断

・産業別判断指数

(1) 上半期(1月～6月期)の実績(水準)

	業況 (良い割合—悪い割合)	売上 (好調割合—低調割合)	採算 (黒字割合—赤字割合)	資金繰り (余裕割合—苦しい割合)	仕入れ価格 (低い割合—高い割合)	受注(客)単価 (高い割合—低い割合)	従業員 (過剰割合—不足割合)
全産業	4.7 ☁️	▲6.9 ☁️	31.6 🌞	3.5 ☁️	▲28.3 ☁️	▲35.7 ☁️	▲35.7 ☁️
製造業	14.9 🌞	▲4.3 ☁️	44.7 🌞	19.1 🌞	▲19.6 ☁️	▲27.7 ☁️	▲28.3 ☁️
建設業	7.1 ☁️	0.0 ☁️	28.6 🌞	0.0 ☁️	▲35.0 ☁️	▲52.4 ☁️	▲52.4 ☁️
卸・小売業	▲22.2 ☁️	▲27.8 ☁️	▲5.6 ☁️	▲33.3 ☁️	▲38.9 ☁️	▲44.4 ☁️	▲16.7 ☁️
サービス業	3.2 ☁️	▲3.2 ☁️	35.5 🌞	3.4 ☁️	▲31.0 ☁️	▲31.0 ☁️	▲46.7 ☁️

(2) 上半期(1月～6月期)の前年同期比

	業況 (好転割合—悪化割合)	売上 (増加割合—減少割合)	採算 (好転割合—悪化割合)	資金繰り (好転割合—悪化割合)	仕入れ価格 (下落割合—上昇割合)	受注(客)単価 (上昇割合—下落割合)	
全産業	▲4.3 ☁️	▲2.6 ☁️	▲4.3 ☁️	▲1.7 ☁️	▲23.2 ☁️	▲14.9 ☁️	30を超える 🌞
製造業	10.6 🌞	8.5 ☁️	4.3 ☁️	6.5 ☁️	▲11.1 ☁️	▲10.9 ☁️	10～30 🌞
建設業	▲4.8 ☁️	0.0 ☁️	0.0 ☁️	▲9.5 ☁️	▲40.0 ☁️	▲9.5 ☁️	▲10超～10未満 ☁️
卸・小売業	▲44.4 ☁️	▲33.3 ☁️	▲38.9 ☁️	▲16.7 ☁️	▲27.8 ☁️	▲33.3 ☁️	▲30～▲10 ☁️
サービス業	▲3.3 ☁️	▲3.2 ☁️	0.0 ☁️	0.0 ☁️	▲27.6 ☁️	▲13.8 ☁️	▲30下回る ☁️

※(1) 実績(水準)は調査時における市内の景気水準を(2) 前年同期比は前年同期からの変化を示す。
 ※上記の指数は、業況・売上・採算など各項目についての状況の判断を示す。プラス(「好転」超など)であれば、景気が良い水準(上向き傾向)を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、景気が悪い水準(下向き傾向)を表す回答割合が多いことを示す。
 ※実績(水準)の業況のみ5段階(良い、やや良い、どちらともいえない、やや悪い、悪い)で評価(他は3段階評価)。

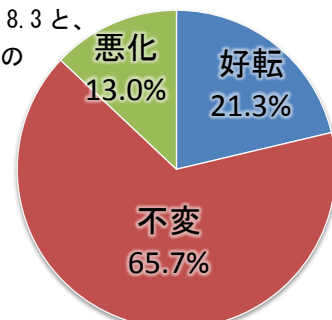
・調査結果のポイント

市内企業の業況判断指数は、1月～6月期の実績(水準)は、全産業で4.7と前回調査(9月～12月期)の▲11.4から上昇した。業種別で見ると、卸・小売業が▲22.2と低調となるも、製造業、建設業、サービス業はプラス圏に浮上した。項目別では前回調査に続き、受注(客)単価、従業員判断が全産業で大きくマイナスとなっている。

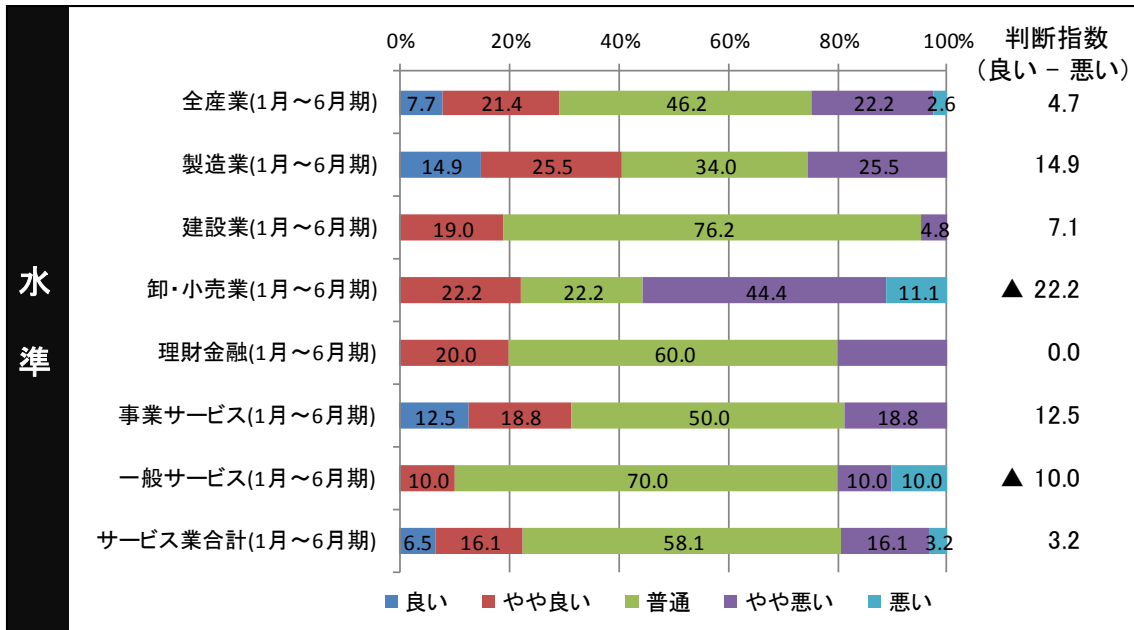
前年同期からの変化をみると、全産業で▲4.3と前回調査の▲2.4から「悪化」超幅が拡大。業種別では製造業で「好転」超となった。一方で、卸・小売業で▲44.4と、前回調査に続き、消費低迷の影響等で依然厳しい状況であることがうかがえる。

・平成29年下半期の業況見通し

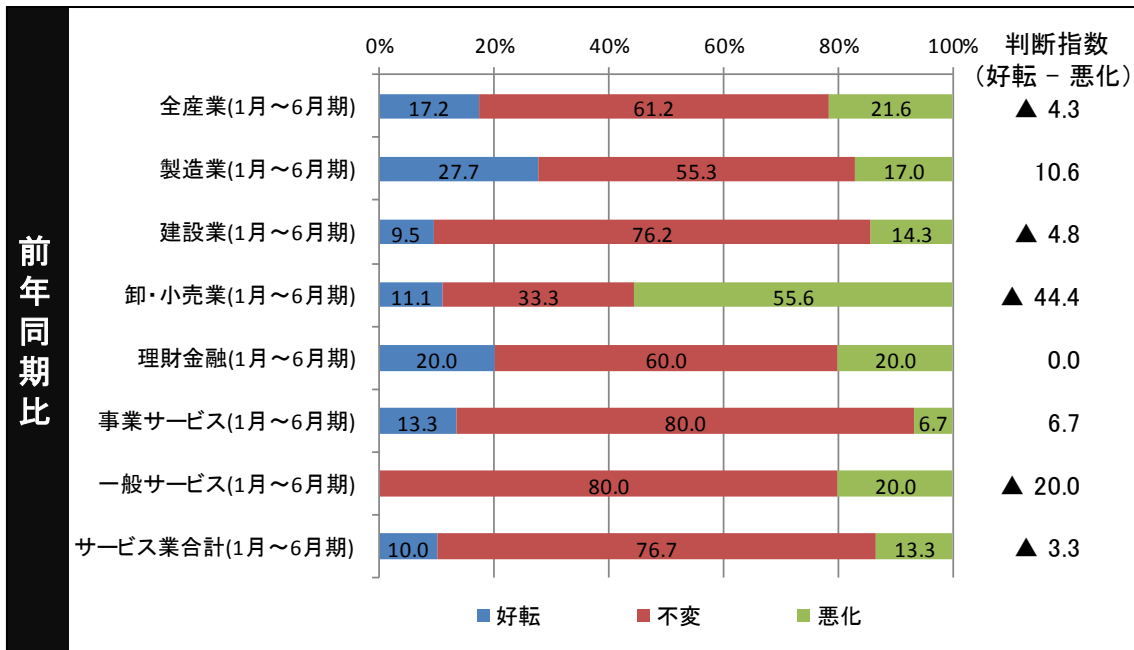
全産業の下半期(平成29年7月～12月)の業況見通しは、平成29年上半年期に比べ、「好転」見込みの企業が21.3%、「悪化」見込み企業が13.0%となった。判断指数は8.3と、やや強含みの見通し。



【業況についての判断】



※業況水準の判断指数＝「良い」割合＋「やや良い」割合×0.5－「やや悪い」割合×0.5－「悪い」割合

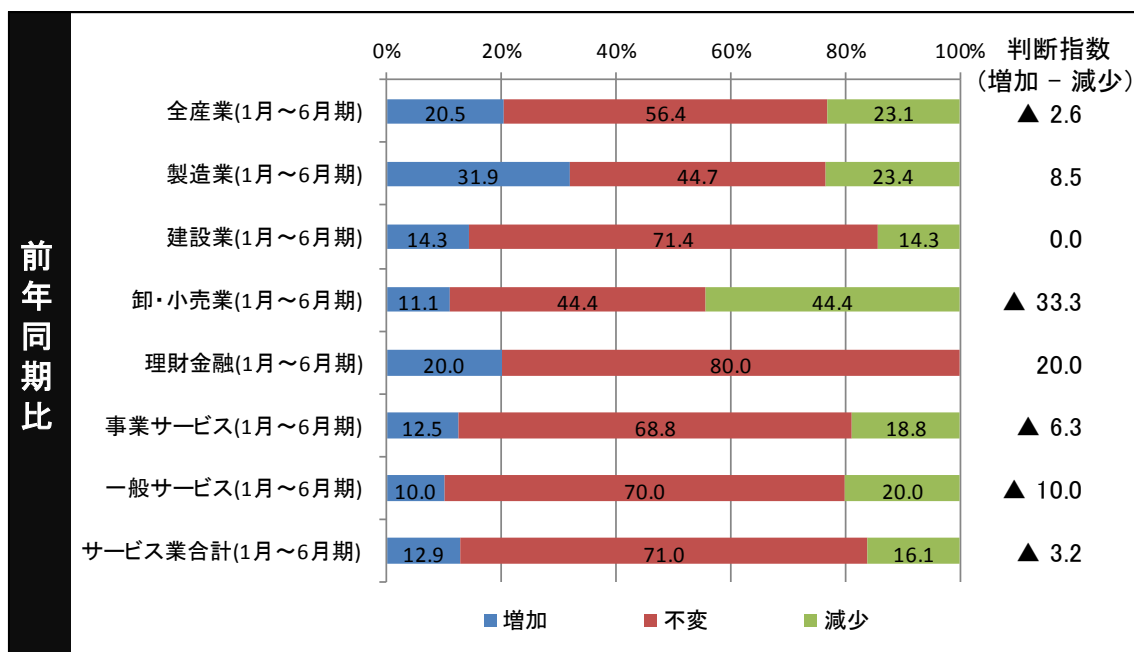
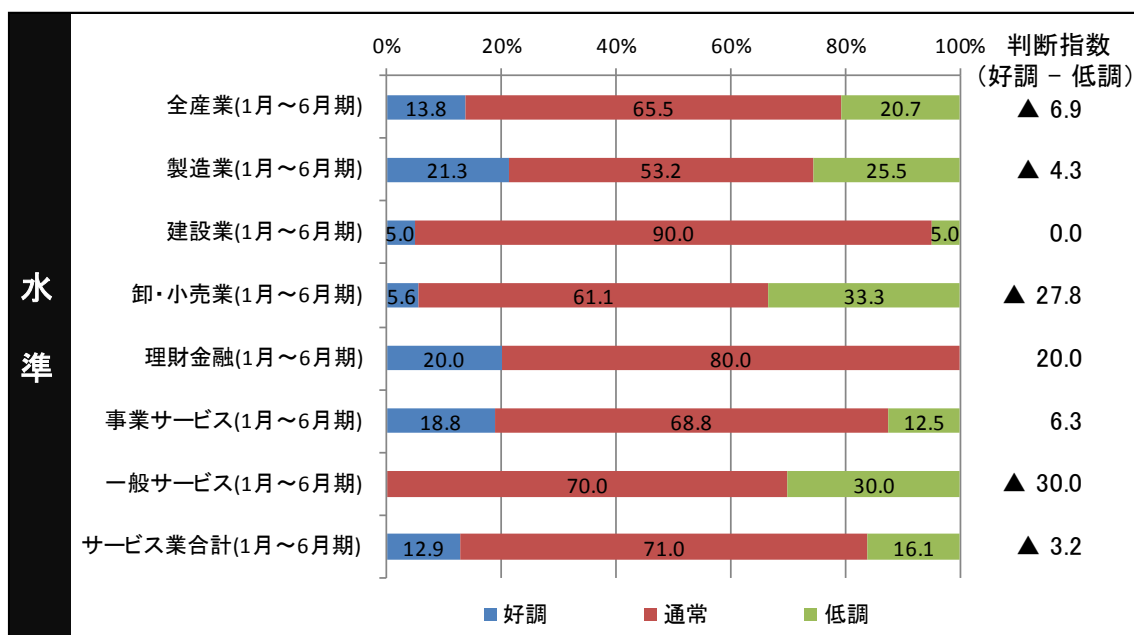


・1月～6月期の全産業合計の業況水準の判断指数は4.7と前回調査(10月～12月期)の▲11.4から上昇した。業種別に見ると製造業、建設業、事業サービス業で「良い」超となったものの、卸・小売業、一般サービス業で「悪い」超となっている。

・1月～6月期の前年同期比をみると、全産業合計で▲4.3と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業などが「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業の「悪化」超が大きい。

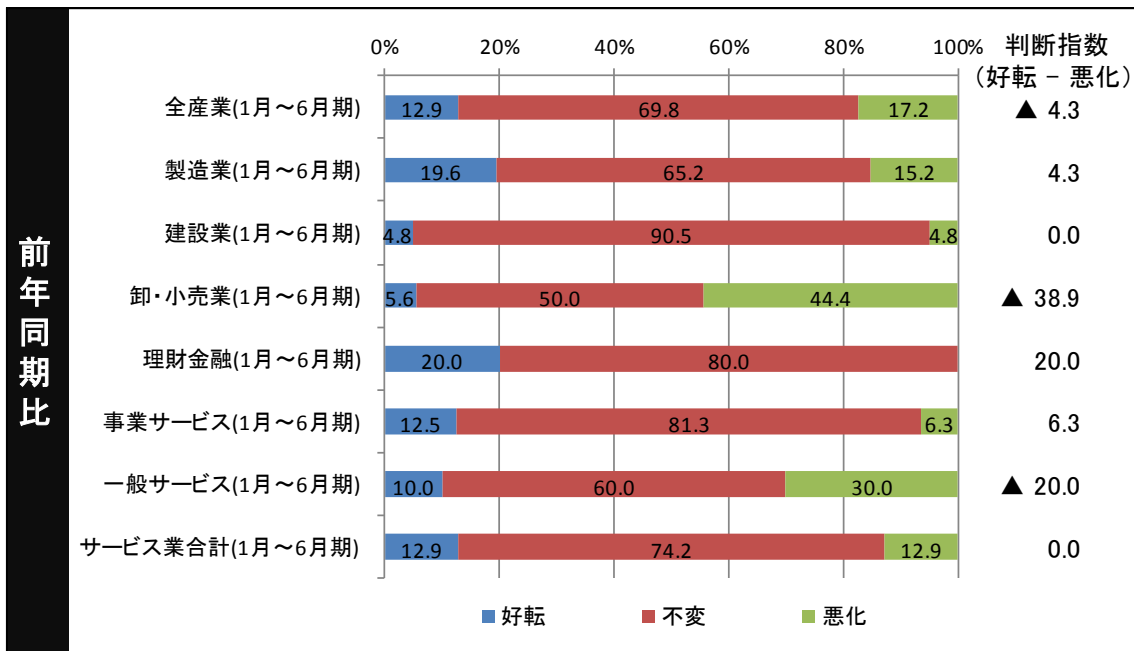
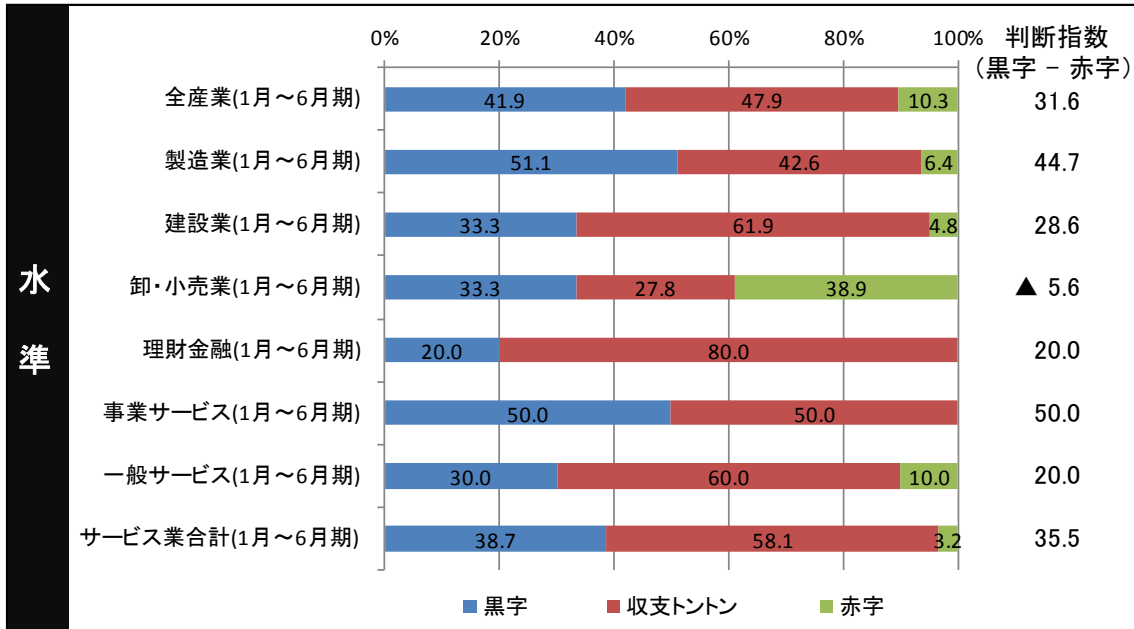
・個人消費低迷の影響の大きい卸・小売業、一般サービス業での低迷が目立つ。

【売上状況についての判断】



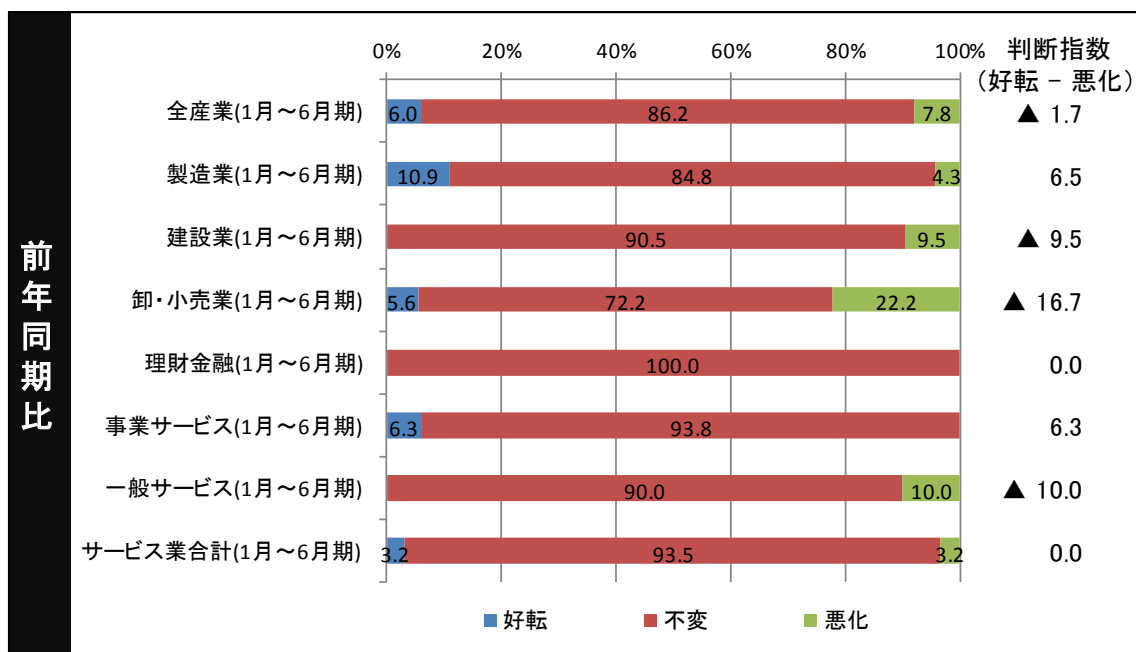
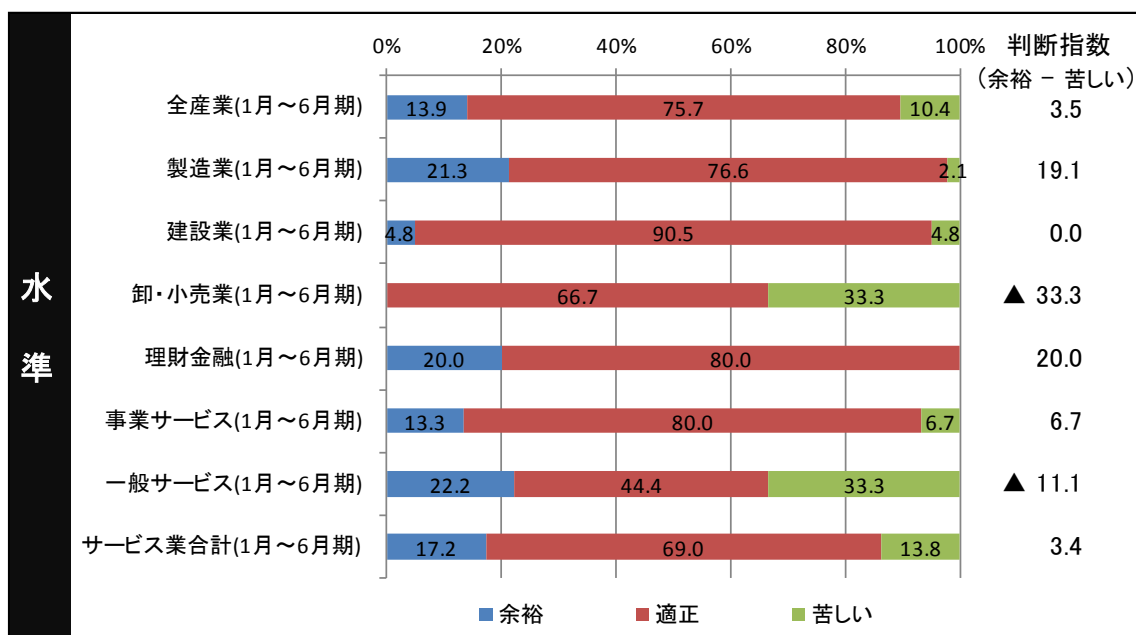
- ・1月～6月期の全産業合計の売上水準の判断指数は▲6.9と前回調査(10月～12月期)の▲9.6から上昇したものの、依然として「低調」超。業種別に見ると、理財金融業、事業サービス業が「好調」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業での「低調」超が目立つ。
- ・1月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲2.6と「減少」超。業種別に見ると、製造業、理財金融業が「増加」超と前年から良化傾向がみられる。一方で、卸・小売業では▲33.3と大きく「減少」超となっており、前年に比べ弱い動きがみられる。

【採算の状況についての判断】



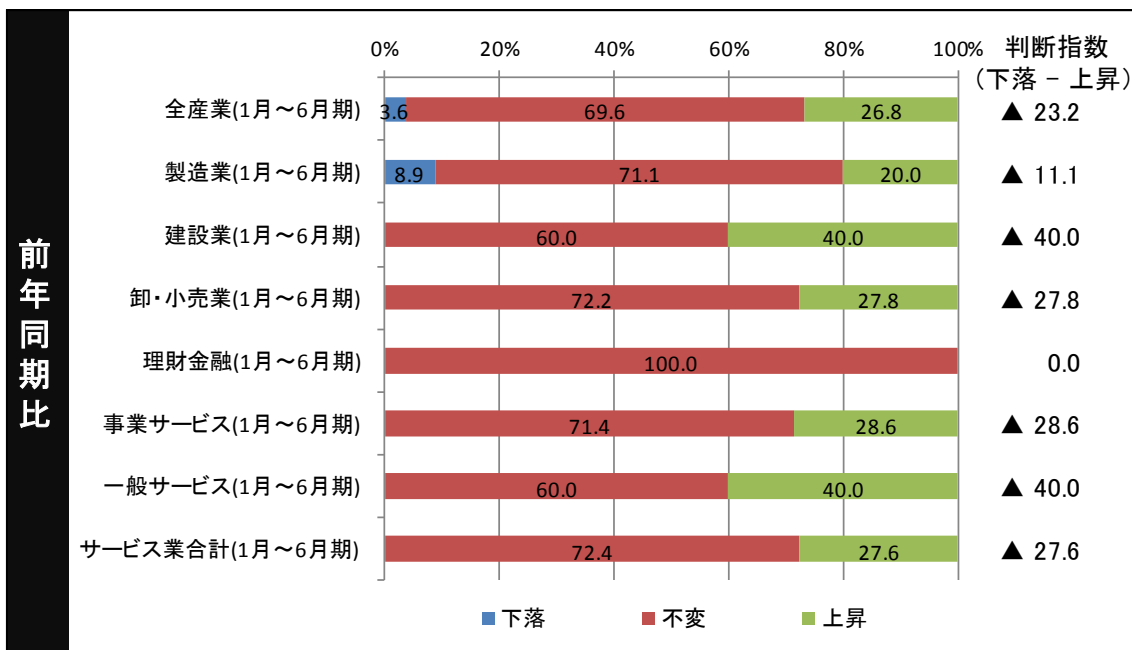
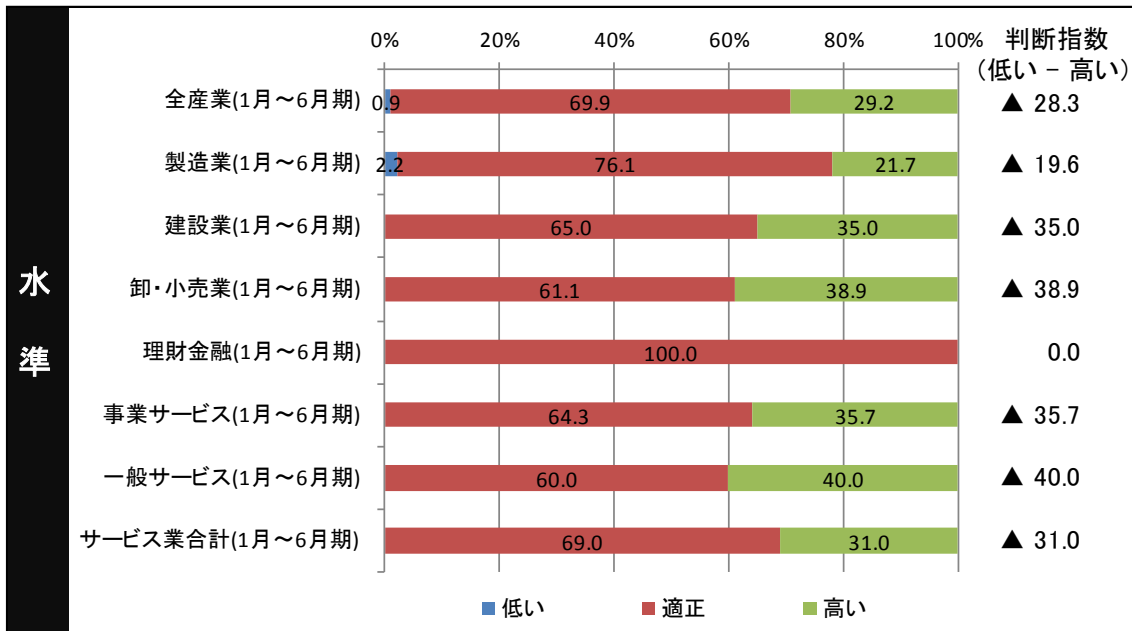
- ・1月～6月期の全産業合計の採算水準の判断指数は31.6と「黒字」超、前回調査（10月～12月期）の26.5から上昇した。業種別に見ると、卸・小売業のみ「赤字」超となった。一般サービス業は前回調査の「赤字」超から「黒字」超へと転じている。
- ・1月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲4.3と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、理財金融業、事業サービス業で「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業で「悪化」超となった。卸・小売業は「前年から悪化」回答が半数近くとなっており、厳しい状況がうかがえる。

【資金繰りの状況についての判断】



- ・1月～6月期の全産業合計の資金繰り水準の判断指数は、3.5と前回調査（10月～12月期）の1.2からやや上昇した。業種別に見ると、製造業、理財金融業、事業サービス業で「余裕」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業で「苦しい」超となっている。特に卸・小売業は前回調査から「苦しい」超が縮小するも▲33.3と依然大きい。
- ・1月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲1.7と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「好転」超となる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業では「悪化」超となった。

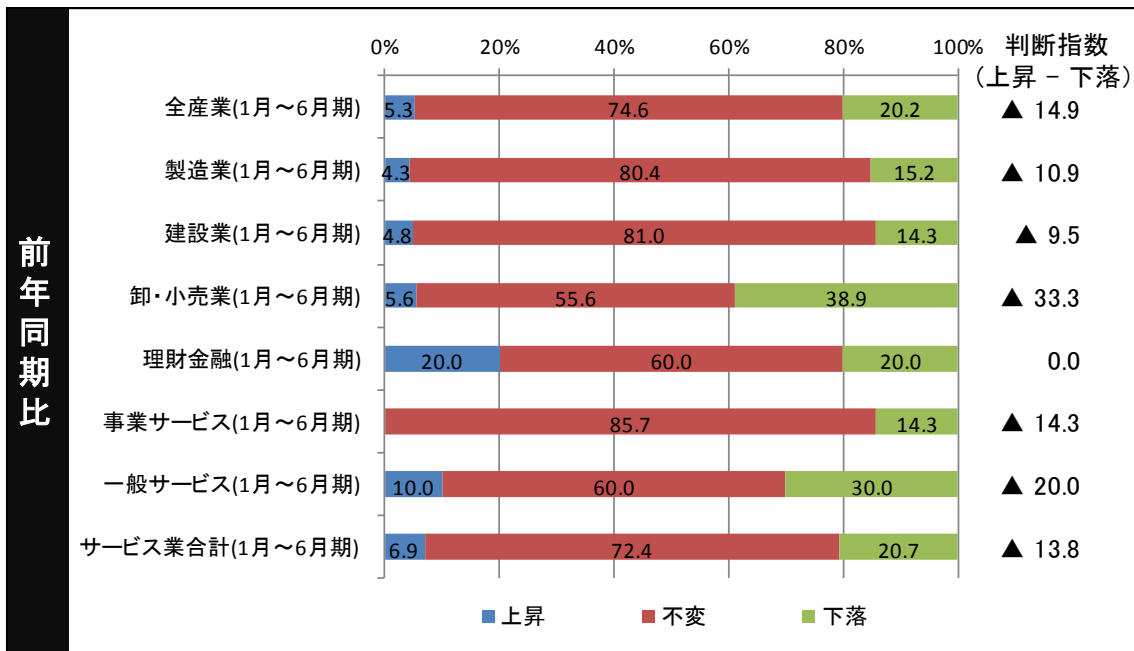
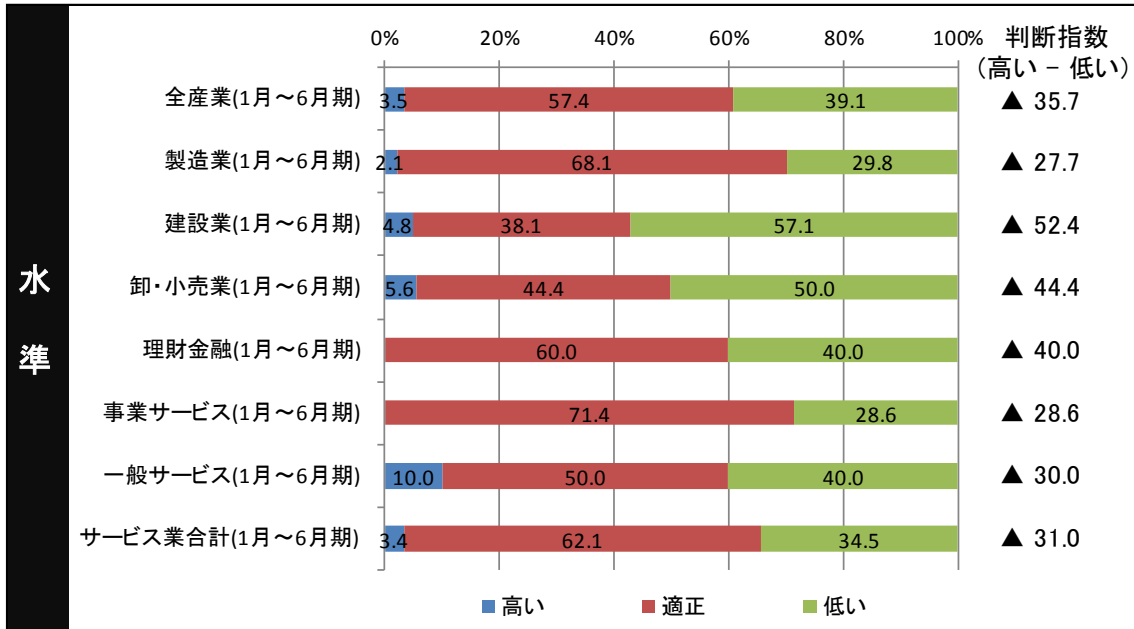
【仕入れ価格の状況についての判断】



・ 1月～6月期の全産業合計の仕入れ価格水準の判断指数は▲28.3と前回調査（10月～12月期）の▲16.9から低下した。理財金融業を除く全業種で「高い」超となった。業種別に見ると、製造業、一般サービス業で「高い」の回答割合が前回調査から大きく増加、その他の業種では前回調査とほぼ同じ水準となった。

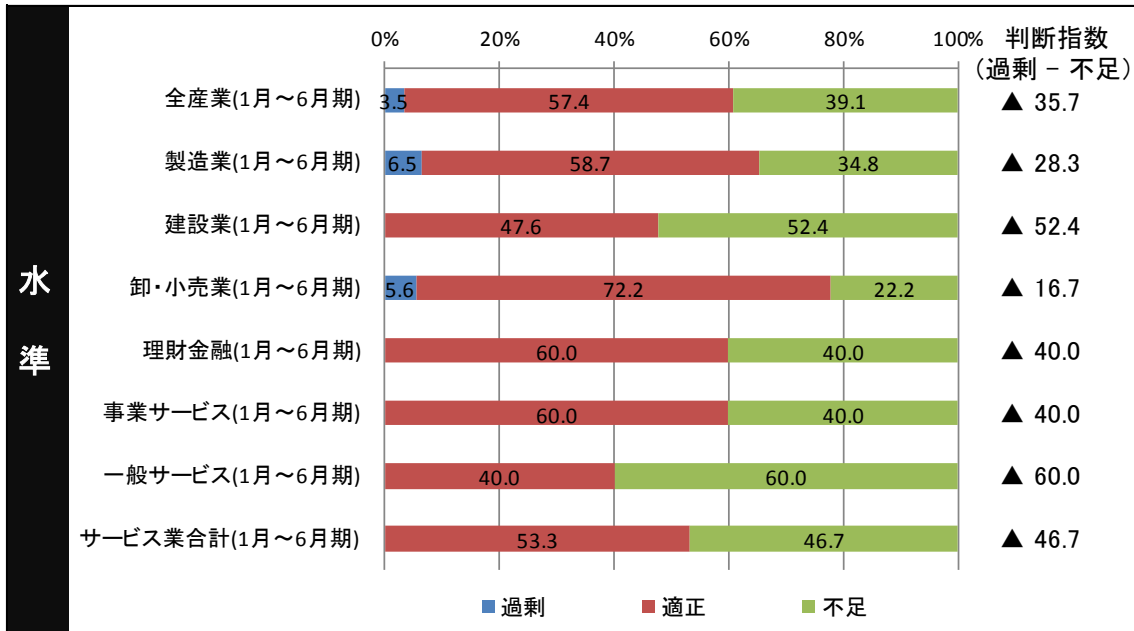
・ 1月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲23.2と「上昇」超。理財金融業を除く全業種で「上昇」超となった。業種別に見ると、特に建設業、一般サービス業では「上昇」超が大きい。

【受注(客)単価の状況についての判断】



- ・1月～6月期の全産業合計の受注(客)単価水準の判断指数は▲35.7と前回調査(10月～12月期)の▲31.7から下落。「高い」の回答割合は非常に少なく、業種別に見ると、建設業、卸・小売業では5割以上が「低い」と回答している。
- ・1月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲14.9と「下落」超。業種別に見ると、理財金融を除く全業種で「下落」超となっており、受注(客)単価は低水準にある中、下落傾向にあるものとみられる。

【従業員の状況についての判断】



・1月～6月期の従業員過不足水準の判断指数は▲35.7と前回調査(10月～12月期)の▲44.6から「不足」回答割合が減少するも、依然、全業種で「不足」超となっている。建設業、一般サービス業で「不足」超が大きい。前回調査からの変化は、一般サービス業では前回▲25.0から▲60.0と「不足」超が大きく増加した。その他の業種では「不足」回答割合がやや減少している。依然として、従業員の不足感は引き続き多くの業種に広がっている。

【設備投資】

期間中の設備投資については、39.0%が「実施した」と回答。業種別の実施割合を見ると、最も高かったのは製造業で59.6%の事業所で設備投資を実施している。

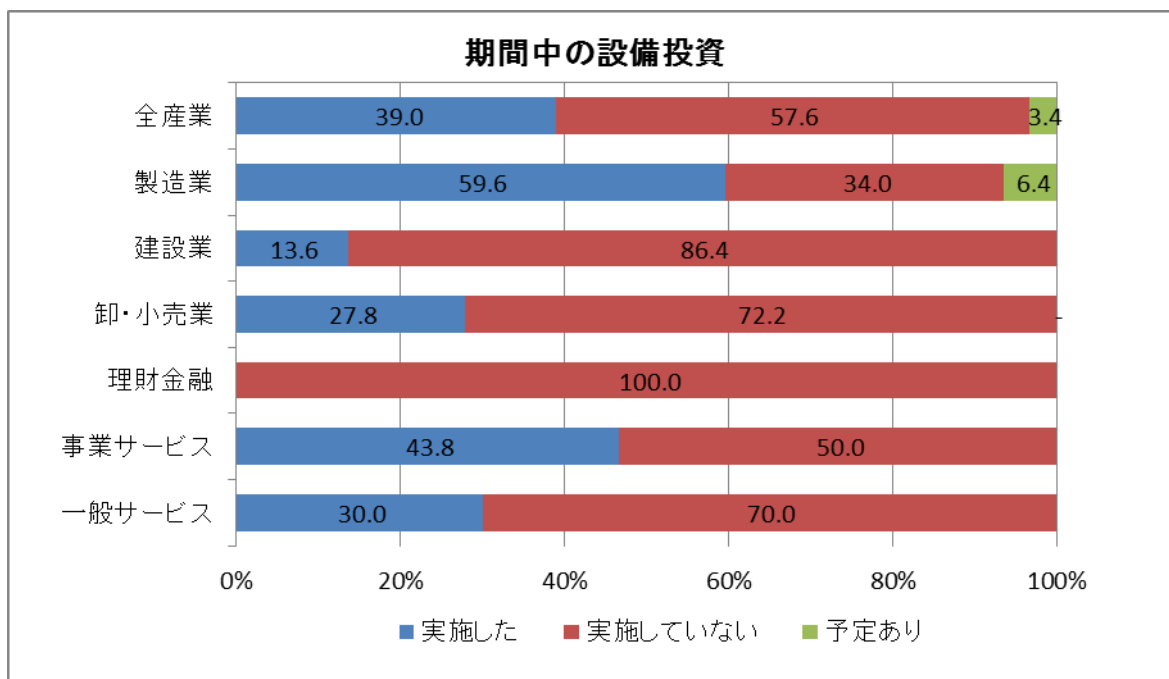
設備投資の目的としては「補修・更新」が26件で最も多く、次いで「生産能力拡大・売上増」(14件)となった。

問2-①. 期間中(1月～6月)に設備投資は実施しましたか。

期間中の設備投資	件数
実施した	46
実施していない	68
予定あり	4
無回答	1
合計	119

1月～6月期の設備投資の実施(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	期間中の設備投資			
		合計	実施した	実施していない	予定あり
業種	全産業	118 100.0	46 39.0	68 57.6	4 3.4
	製造業	47 100.0	28 59.6	16 34.0	3 6.4
	建設業	22 100.0	3 13.6	19 86.4	-
	卸・小売業	18 100.0	5 27.8	13 72.2	-
	理財金融	5 100.0	-	5 100.0	-
	事業サービス	16 100.0	7 43.8	8 50.0	1 6.3
	一般サービス	10 100.0	3 30.0	7 70.0	-



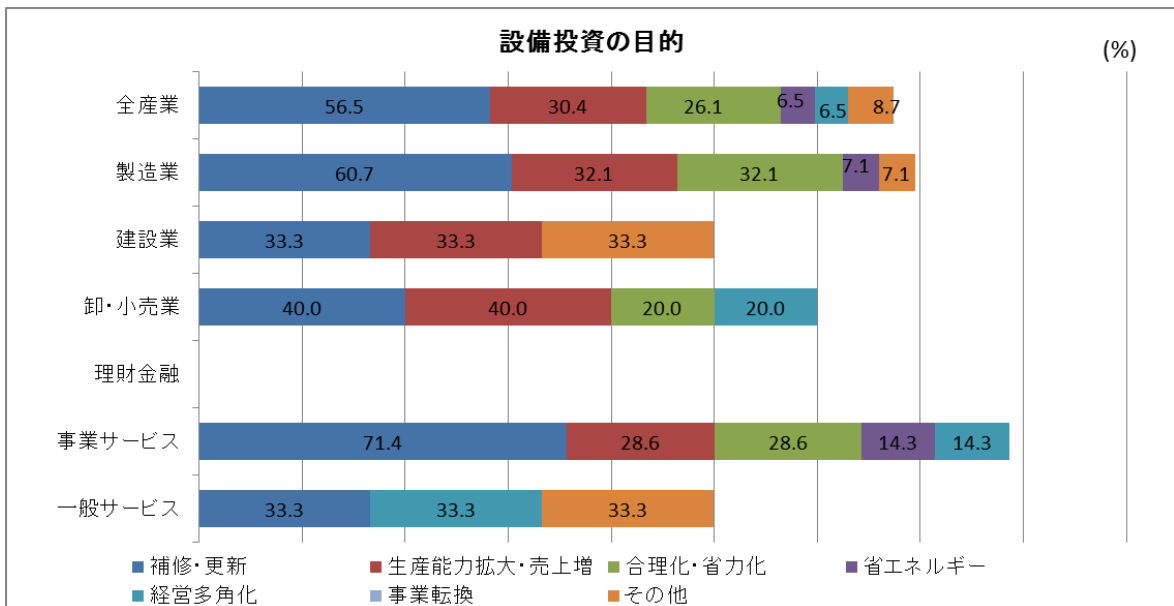
問2-②. 設備投資の目的

(複数回答)

設備投資の目的	件数
補修・更新	26
生産能力拡大・売上増	14
合理化・省力化	12
省エネルギー	3
経営多角化	3
事業転換	0
その他	4
無回答	0

設備投資の目的(業種別)

	上段:件数 下段:%	設備投資の目的							
		合計	補修・更新	生産能力拡大・売上増	合理化・省力化	省エネルギー	経営多角化	事業転換	その他
業種	全産業	46 100.0	26 56.5	14 30.4	12 26.1	3 6.5	3 6.5	-	4 8.7
	製造業	28 100.0	17 60.7	9 32.1	9 32.1	2 7.1	-	-	2 7.1
	建設業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3
	卸・小売業	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-
	理財金融	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	事業サービス	7 100.0	5 71.4	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	-	-
	一般サービス	3 100.0	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3



【採用について】

採用について、2017年度「採用を行う（行っている）」と回答した企業は65.8%。採用を行う企業のうち、昨年度に比べ採用人数を「増やす」との回答が52.6%となった。製造業、建設業でやや高い水準となっている。

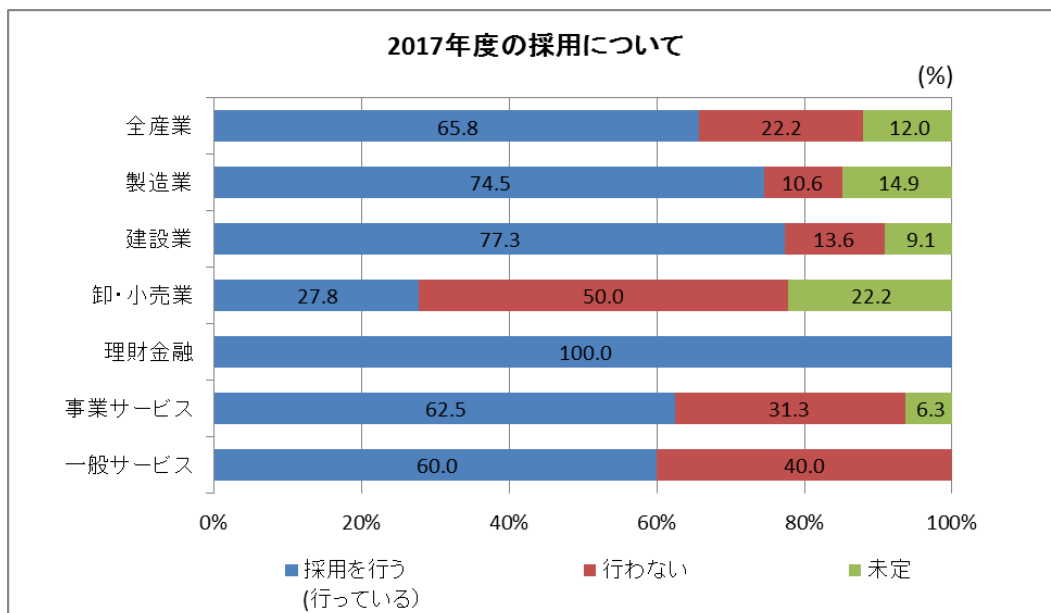
また2016年度の採用実績については、募集をした企業が86件（74.1%）。このうち「予定人数を確保できた」との回答は46件、一方で「予定人数を確保できなかった」が24件、「募集したが採用できなかった」が15件。およそ半数の企業で採用実績は未充足となっている。

問3-①2017年度の採用について

2017年度の採用	件数
採用を行う(行っている)	77
行わない	26
未定	14
無回答	2
合計	119

問 3-①2017 年度の採用について(業種別)

上段:件数 下段:%		2017年度の採用について			
		合計	採用を行う (行っている)	行わない	未定
業種	全産業	117 100.0	77 65.8	26 22.2	14 12.0
	製造業	47 100.0	35 74.5	5 10.6	7 14.9
	建設業	22 100.0	17 77.3	3 13.6	2 9.1
	卸・小売業	18 100.0	5 27.8	9 50.0	4 22.2
	理財金融	4 100.0	4 100.0	- -	- -
	事業サービス	16 100.0	10 62.5	5 31.3	1 6.3
	一般サービス	10 100.0	6 60.0	4 40.0	- -

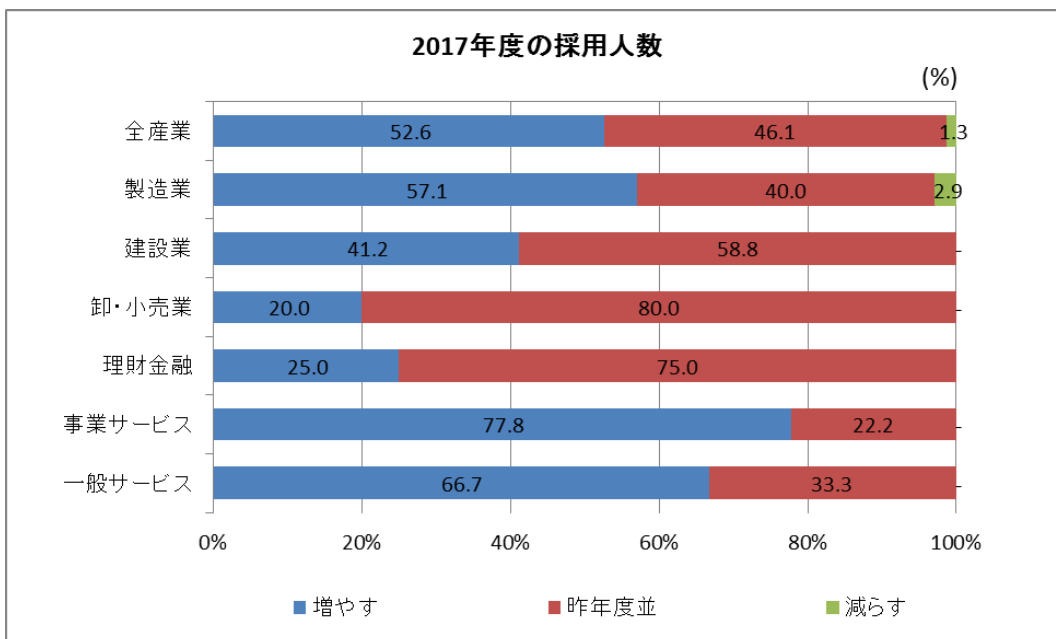


問3-①-2. 2017年度の採用人数

2017年度の採用人数	件数
増やす	40
昨年度並	35
減らす	1
無回答	1
合計	77

問 3-①-2.2017 年度の採用人数

上段:件数 下段:%		2017年度の採用人数			
		合計	増やす	昨年度並	減らす
業種	全産業	76 100.0	40 52.6	35 46.1	1 1.3
	製造業	35 100.0	20 57.1	14 40.0	1 2.9
	建設業	17 100.0	7 41.2	10 58.8	-
	卸・小売業	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-
	理財金融	4 100.0	1 25.0	3 75.0	-
	事業サービス	9 100.0	7 77.8	2 22.2	-
	一般サービス	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-

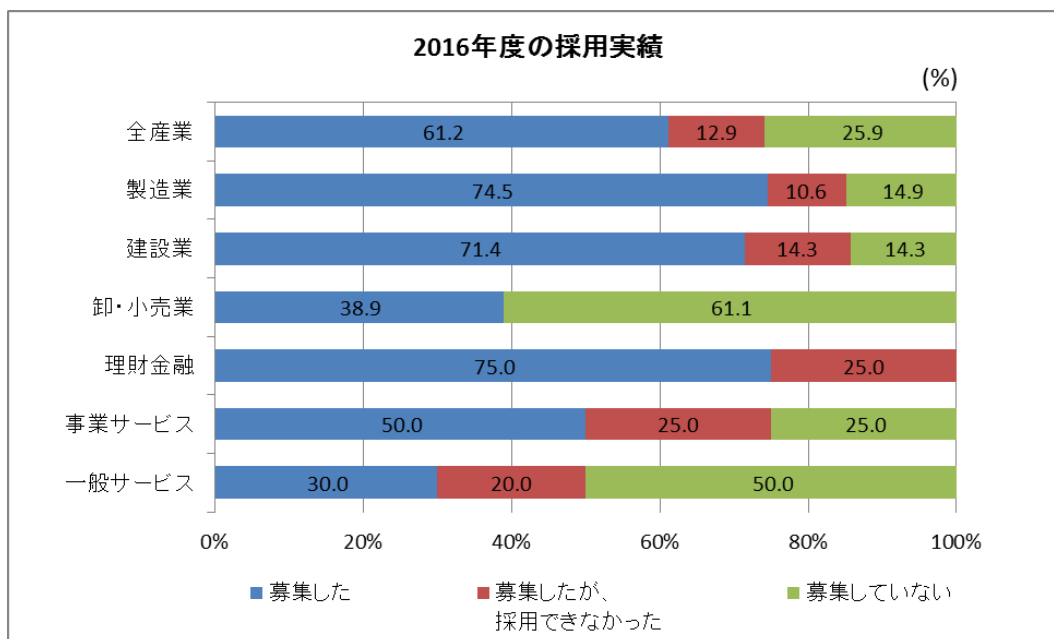


問3-②2016年度の採用実績について

2016年度の採用について	件数
募集した	71
募集したが、採用できなかった	15
募集していない	30
無回答	3
合計	119

2016年度の採用実績(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	2016年度の採用実績			
		合計	募集した	募集したが、 採用できなかった	募集していない
業種	全産業	116 100.0	71 61.2	15 12.9	30 25.9
	製造業	47 100.0	35 74.5	5 10.6	7 14.9
	建設業	21 100.0	15 71.4	3 14.3	3 14.3
	卸・小売業	18 100.0	7 38.9	- -	11 61.1
	理財金融	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -
	事業サービス	16 100.0	8 50.0	4 25.0	4 25.0
	一般サービス	10 100.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0

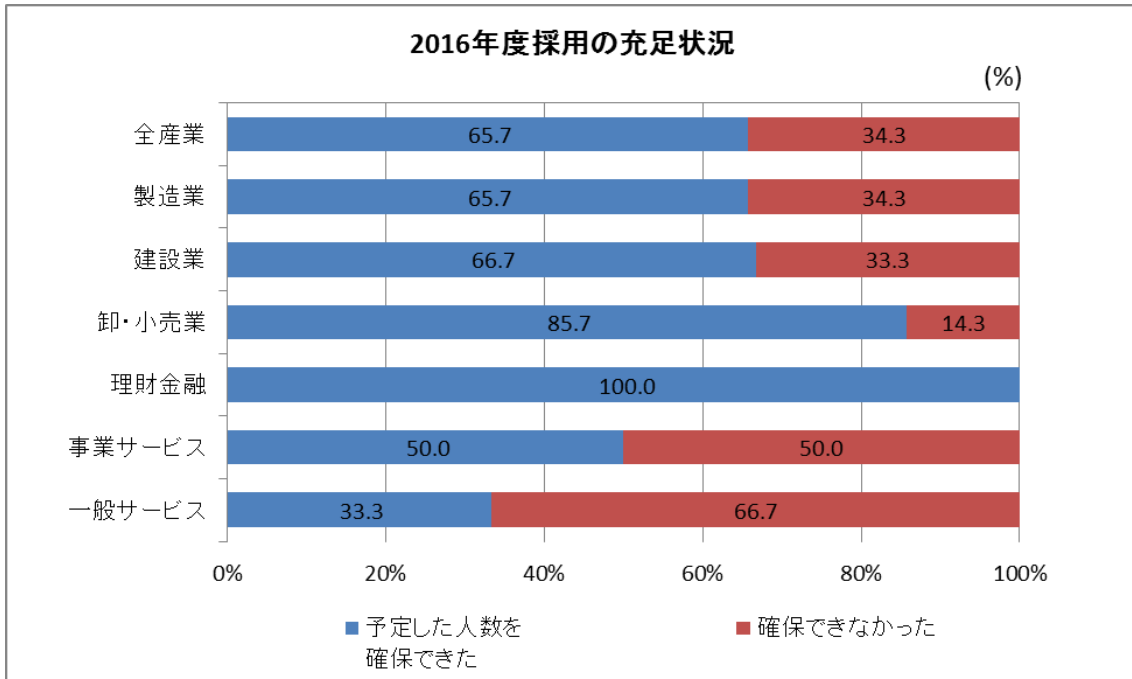


問3-②-2. 2016年度採用の充足状況

2016年度採用の充足状況	件数
予定した人数を確保できた	46
確保できなかった	24
無回答	1
合計	71

2016年度採用の充足状況(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	2016年度採用の充足状況		
		合計	予定した人数を 確保できた	確保できなかった
業種	全産業	70 100.0	46 65.7	24 34.3
	製造業	35 100.0	23 65.7	12 34.3
	建設業	15 100.0	10 66.7	5 33.3
	卸・小売業	7 100.0	6 85.7	1 14.3
	理財金融	2 100.0	2 100.0	- -
	事業サービス	8 100.0	4 50.0	4 50.0
	一般サービス	3 100.0	1 33.3	2 66.7



【新たな取り組み】

新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み についての「予定がある」の回答が 33 件 (28.4%)、「興味がある」の回答が 23 件(19.8%)となった

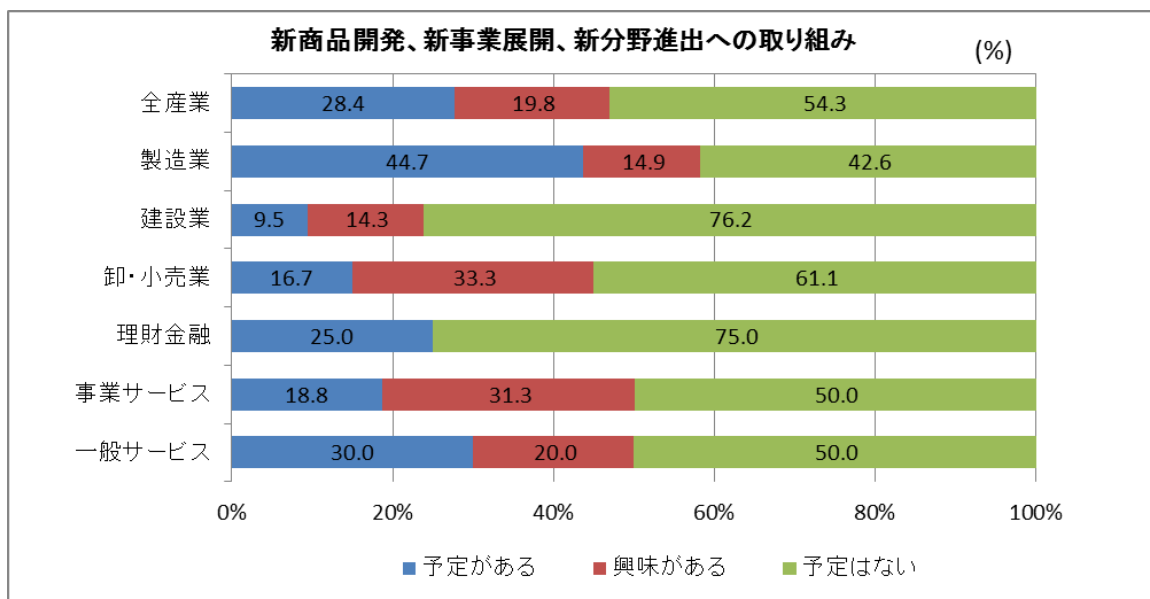
予定内容は、「新商品開発」が 19 件、興味内容は「新分野進出」が 13 件と最も多かった。

問4-①. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み (複数回答)

新たな取り組み	件数
予定がある	33
興味がある	23
予定はない	63
無回答	3
合計	119

新たな取り組み(業種別)

	上段:度数 下段:%	問4. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み			
		合計	予定がある	興味がある	予定はない
業種	全体	116 100.0	33 28.4	23 19.8	63 54.3
	製造業	47 100.0	21 44.7	7 14.9	20 42.6
	建設業	21 100.0	2 9.5	3 14.3	16 76.2
	卸・小売業	18 100.0	3 16.7	6 33.3	11 61.1
	理財金融	4 100.0	1 25.0	-	3 75.0
	事業サービス	16 100.0	3 18.8	5 31.3	8 50.0
	一般サービス	10 100.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0



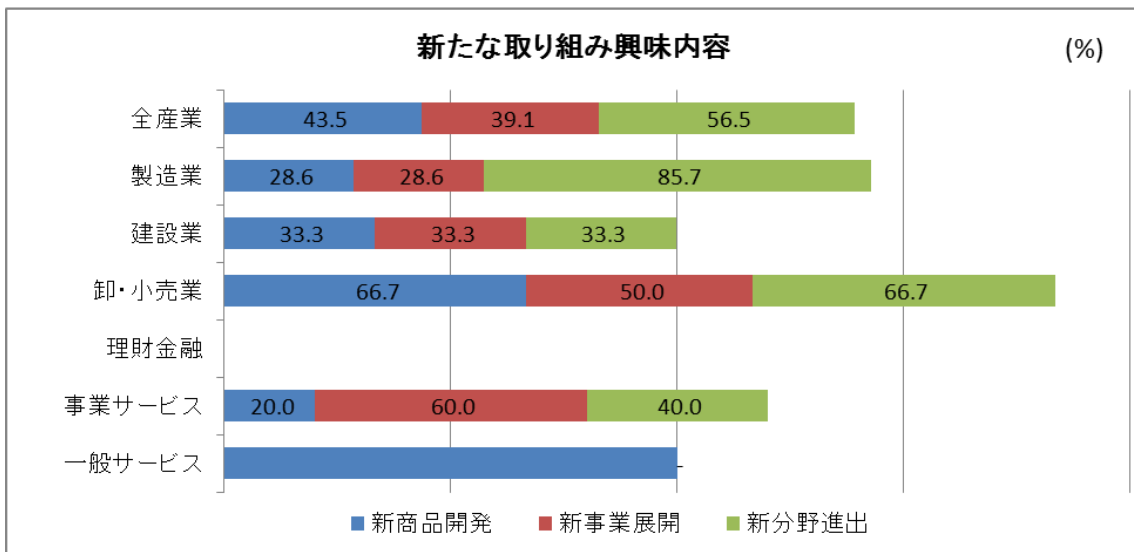
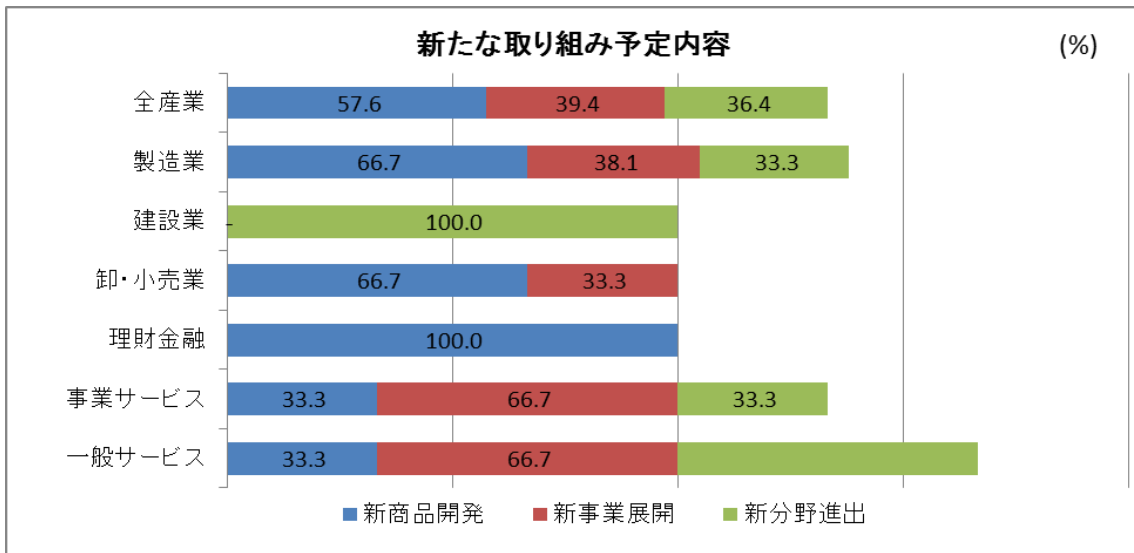
問4-②. 予定・興味の内容

(複数回答)

内容	予定あり件数	興味あり件数
新商品開発	19	10
新事業展開	13	9
新分野進出	12	13

予定・興味の内容(業種別)

上段:件数 下段:%	問4-1. 予定内容				興味内容			
	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出
全体	33 100.0	19 57.6	13 39.4	12 36.4	23 100.0	10 43.5	9 39.1	13 56.5
製造業	21 100.0	14 66.7	8 38.1	7 33.3	7 100.0	2 28.6	2 28.6	6 85.7
建設業	2 100.0	-	-	2 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
卸・小売業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	6 100.0	4 66.7	3 50.0	4 66.7
理財金融	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
事業サービス	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	5 100.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0
一般サービス	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 100.0	2 100.0	-	-



【経営課題】

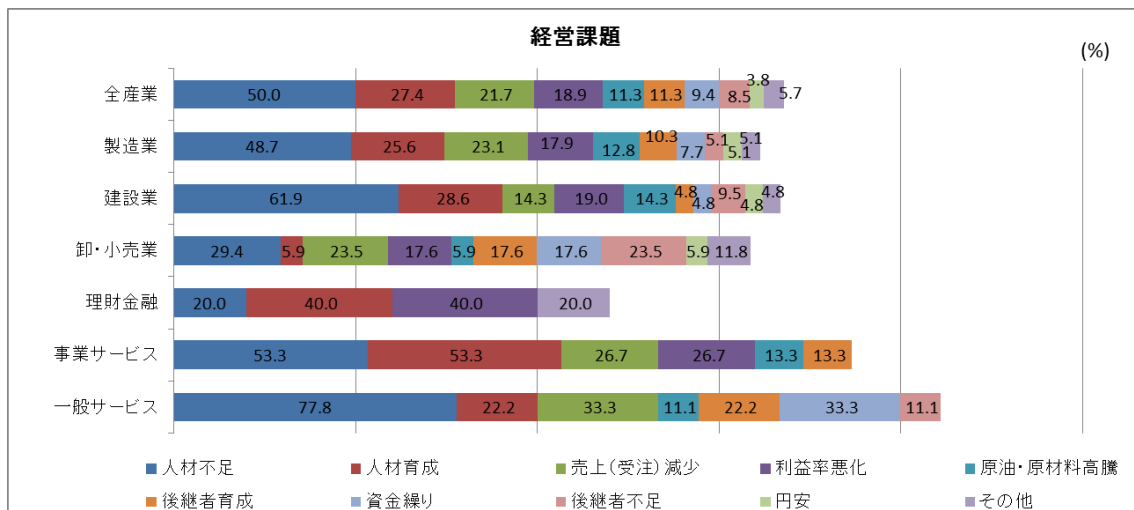
経営課題については「人材不足」が50.0%と最も高く、「人材育成」(27.4%)、「売上(受注)減少」(21.7%)と続いている。「人材不足」は、一般サービス業で77.8%、建設業で61.9%と特に大きい。

問5. 現在お悩みの経営課題について (複数回答)

経営課題	件数
人材不足	53
人材育成	29
売上(受注)減少	23
利益率悪化	20
原油・原材料高騰	12
後継者育成	12
資金繰り	10
後継者不足	9
円安	4
その他	6
無回答	13
合計	119

経営課題 (業種別)

業種	上段:件数 下段:%	経営課題										
		合計	人材不足	人材育成	売上(受注)減少	利益率悪化	原油・原材料高騰	後継者育成	資金繰り	後継者不足	円安	その他
業種	全産業	106 100.0	53 50.0	29 27.4	23 21.7	20 18.9	12 11.3	12 11.3	10 9.4	9 8.5	4 3.8	6 5.7
	製造業	39 100.0	19 48.7	10 25.6	9 23.1	7 17.9	5 12.8	4 10.3	3 7.7	2 5.1	2 5.1	2 5.1
	建設業	21 100.0	13 61.9	6 28.6	3 14.3	4 19.0	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	1 4.8
	卸・小売業	17 100.0	5 29.4	1 5.9	4 23.5	3 17.6	1 5.9	3 17.6	3 17.6	4 23.5	1 5.9	2 11.8
	理財金融	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	2 40.0	-	-	-	-	-	1 20.0
	事業サービス	15 100.0	8 53.3	8 53.3	4 26.7	4 26.7	2 13.3	2 13.3	-	-	-	-
	一般サービス	9 100.0	7 77.8	2 22.2	3 33.3	-	1 11.1	2 22.2	3 33.3	1 11.1	-	-



景況調査データ

単位：件

		1月～6月期水準							1月～6月期前年同月比					
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	9	16	49	16	1	4	4	20	24	15	7	4	6
	やや良い	25												
	普通・不変	54	76	56	87	79	66	66	71	66	81	100	78	85
	やや悪い	26												
	悪い・悪化	3	24	12	12	33	45	45	25	27	20	9	30	23
	合計	117	116	117	115	113	115	115	116	117	116	116	112	114
製造業	良い・好転	7	10	24	10	1	1	3	13	15	9	5	4	2
	やや良い	12												
	普通・不変	16	25	20	36	35	32	27	26	21	30	39	32	37
	やや悪い	12												
	悪い・悪化	0	12	3	1	10	14	16	8	11	7	2	9	7
	合計	47	47	47	47	46	47	46	47	47	46	46	45	46
建設業	良い・好転	0	1	7	1	0	1	0	2	3	1	0	0	1
	やや良い	4												
	普通・不変	16	18	13	19	13	8	10	16	15	19	19	12	17
	やや悪い	1												
	悪い・悪化	0	1	1	1	7	12	11	3	3	1	2	8	3
	合計	21	20	21	21	20	21	21	21	21	21	21	20	21
卸・小売業	良い・好転	0	1	6	0	0	1	1	2	2	1	1	0	1
	やや良い	4												
	普通・不変	4	11	5	12	11	8	13	6	8	9	13	13	10
	やや悪い	8												
	悪い・悪化	2	6	7	6	7	9	4	10	8	8	4	5	7
	合計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
理財金融	良い・好転	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1
	やや良い	1												
	普通・不変	3	4	4	4	5	3	3	3	4	4	5	5	3
	やや悪い	1												
	悪い・悪化	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1
	合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
事業サービス	良い・好転	2	3	8	2	0	0	0	2	2	2	1	0	0
	やや良い	3												
	普通・不変	8	11	8	12	9	10	9	12	11	13	15	10	12
	やや悪い	3												
	悪い・悪化	0	2	0	1	5	4	6	1	3	1	0	4	2
	合計	16	16	16	15	14	14	15	15	16	16	16	14	14
一般サービス	良い・好転	0	0	3	2	0	1	0	0	1	1	0	0	1
	やや良い	1												
	普通・不変	7	7	6	4	6	5	4	8	7	6	9	6	6
	やや悪い	1												
	悪い・悪化	1	3	1	3	4	4	6	2	2	3	1	4	3
	合計	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10
サービス業合計	良い・好転	2	4	12	5	0	1	0	3	4	4	1	0	2
	やや良い	5												
	普通・不変	18	22	18	20	20	18	16	23	22	23	29	21	21
	やや悪い	5												
	悪い・悪化	1	5	1	4	9	10	14	4	5	4	1	8	6
	合計	31	31	31	29	29	29	30	30	31	31	31	29	29

単位：%、判断指数はポイント

		1月～6月期水準							1月～6月期前年同月比						
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	
全産業	良い・好転	7.7	13.8	41.9	13.9	0.9	3.5	3.5	17.2	20.5	12.9	6.0	3.6	5.3	
	やや良い	21.4													
	普通・不変	46.2	65.5	47.9	75.7	69.9	57.4	57.4	61.2	56.4	69.8	86.2	69.6	74.6	
	やや悪い	22.2													
	悪い・悪化	2.6	20.7	10.3	10.4	29.2	39.1	39.1	21.6	23.1	17.2	7.8	26.8	20.2	
	判断指数	4.7	▲ 6.9	31.6	3.5	▲ 28.3	▲ 35.7	▲ 35.7	▲ 4.3	▲ 2.6	▲ 4.3	▲ 1.7	▲ 23.2	▲ 14.9	
製造業	良い・好転	14.9	21.3	51.1	21.3	2.2	2.1	6.5	27.7	31.9	19.6	10.9	8.9	4.3	
	やや良い	25.5													
	普通・不変	34.0	53.2	42.6	76.6	76.1	68.1	58.7	55.3	44.7	65.2	84.8	71.1	80.4	
	やや悪い	25.5													
	悪い・悪化	0.0	25.5	6.4	2.1	21.7	29.8	34.8	17.0	23.4	15.2	4.3	20.0	15.2	
	判断指数	14.9	▲ 4.3	44.7	19.1	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 28.3	10.6	8.5	4.3	6.5	▲ 11.1	▲ 10.9	
建設業	良い・好転	0.0	5.0	33.3	4.8	0.0	4.8	0.0	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0	4.8	
	やや良い	19.0													
	普通・不変	76.2	90.0	61.9	90.5	65.0	38.1	47.6	76.2	71.4	90.5	90.5	60.0	81.0	
	やや悪い	4.8													
	悪い・悪化	0.0	5.0	4.8	4.8	35.0	57.1	52.4	14.3	14.3	4.8	9.5	40.0	14.3	
	判断指数	7.1	0.0	28.6	0.0	▲ 35.0	▲ 52.4	▲ 52.4	▲ 4.8	0.0	0.0	▲ 9.5	▲ 40.0	▲ 9.5	
卸・小売業	良い・好転	0.0	5.6	33.3	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	5.6	
	やや良い	22.2													
	普通・不変	22.2	61.1	27.8	66.7	61.1	44.4	72.2	33.3	44.4	50.0	72.2	72.2	55.6	
	やや悪い	44.4													
	悪い・悪化	11.1	33.3	38.9	33.3	38.9	50.0	22.2	55.6	44.4	44.4	22.2	27.8	38.9	
	判断指数	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 5.6	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 44.4	▲ 16.7	▲ 44.4	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 33.3	
理財金融	良い・好転	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	
	やや良い	20.0													
	普通・不変	60.0	80.0	80.0	80.0	100.0	60.0	60.0	60.0	80.0	80.0	100.0	100.0	60.0	
	やや悪い	20.0													
	悪い・悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	判断指数	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
事業サービス	良い・好転	12.5	18.8	50.0	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	
	やや良い	18.8													
	普通・不変	50.0	68.8	50.0	80.0	64.3	71.4	60.0	80.0	68.8	81.3	93.8	71.4	85.7	
	やや悪い	18.8													
	悪い・悪化	0.0	12.5	0.0	6.7	35.7	28.6	40.0	6.7	18.8	6.3	0.0	28.6	14.3	
	判断指数	12.5	6.3	50.0	6.7	▲ 35.7	▲ 28.6	▲ 40.0	6.7	▲ 6.3	6.3	6.3	▲ 28.6	▲ 14.3	
一般サービス	良い・好転	0.0	0.0	30.0	22.2	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	
	やや良い	10.0													
	普通・不変	70.0	70.0	60.0	44.4	60.0	50.0	40.0	80.0	70.0	60.0	90.0	60.0	60.0	
	やや悪い	10.0													
	悪い・悪化	10.0	30.0	10.0	33.3	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	30.0	10.0	40.0	30.0	
	判断指数	▲ 10.0	▲ 30.0	20.0	▲ 11.1	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 20.0	
サービス業合計	良い・好転	6.5	12.9	38.7	17.2	0.0	3.4	0.0	10.0	12.9	12.9	3.2	0.0	6.9	
	やや良い	16.1													
	普通・不変	58.1	71.0	58.1	69.0	69.0	62.1	53.3	76.7	71.0	74.2	93.5	72.4	72.4	
	やや悪い	16.1													
	悪い・悪化	3.2	16.1	3.2	13.8	31.0	34.5	46.7	13.3	16.1	12.9	3.2	27.6	20.7	
	判断指数	3.2	▲ 3.2	35.5	3.4	▲ 31.0	▲ 31.0	▲ 46.7	▲ 3.3	▲ 3.2	0.0	0.0	▲ 27.6	▲ 13.8	